

育成戦略



ヤオコーグループが目指す姿

- 働きたい会社・働き続けたい会社 日本ナンバーワン
- 「家族的な社風」の維持

第9次中期経営計画 重点課題

方針

- 採用・定着・教育の継続
- 主任中心のチームが輝くための教育・サポート体制確立
- 「考えが分かる」「顔が見える」組織づくり
- 多様な人材が活躍できる職場づくり(ダイバーシティ)

目標

働き甲斐の向上、労働環境の改善

KPI 進捗状況

	有給休暇取得率	従業員満足度
2018/3	20.0%	3.45
2019/3	18.1%	3.43
2020/3	36.4%	3.38

2019年度の取組みと次年度に向けて

カイゼンと並行して、働き方に対する意識改革、労働環境を改善する取り組みを継続いたしました。特に、改正労働基準法の施行に対応した、休暇を取得しやすい勤務制度の整備や活用、「同一労働、同一賃金」への対応をすすめました。また、人材育成の基盤として社内に設置した「ヤオコー大学」における体系的な教育を拡充したほか、外国人技能実習生の受け入れを継続し、店舗及びデリカ・生鮮センターで活躍しています。

2020年度は、創業130周年の節目の年にあたり、あらためて、創業以来受け継いでいるヤオコーらしさについて、様々な教育ツールに落とし込み、社員それぞれが自ら考えて行動を起こすことができる社風を引き継いでまいります。

育成戦略における社会的課題への取り組み
ダイバーシティの推進

少子高齢化が進む中、企業規模が大きくなるにつれ、人手不足は恒常的な問題となっています。当社では働き方改革などによるワークライフバランスの推進や、教育制度の充実に取り組み、社員に「働きやすさ」「働き甲斐」を感じてもらうことで、定着率の向上に努めています。また、重要課題の取り組みとして、女性活躍の推進、外国人の登用を積極的に行っています。女性活躍推進では、2016年から5年間で女性管理職を30名増加させるという女性活躍推進法に基づく行動計画を公表しており、初年度女性管理職44名から、2020年3月末は62名となっております。

外国人の登用につきましては、2020年3月末現在で約500名が在籍しており、そのうち外国人技能実習生約250名が、店舗及びデリカ・生鮮センターにて技術を学びながら活躍してい

ます。仕事だけではなく、レクリエーションや社内行事等の参加を通して、日本文化を体験していただいています。



スリランカの外国人技能実習生

TOPICS

社員の健康維持を目指して 健康経営の実践

昨年に引き続き、2020年も健康経営優良法人(ホワイト500)に認定されました。数年来、全社を挙げて健康増進に取り組み、健康診断受診率の向上、保健師の配置、オリジナルのヤオコー体操の実施や「スポーツと音楽の祭典」と題した大運動会の開催などの取り組みが評価され、認定されたものです。また、「健康をヤオコーブランドに」というコンセプトの下、社員の健康意識向上を目的とした「健康プロジェクト」として、様々なスポーツイベントの企画を実施しており、同業他社や地域住民の方々との交流の場としても活用しています。こうした取り組みを通して、社員の心身の健康を維持することが、当社の持続的な発展のための重要要素の一つであると考えています。



健康プロジェクト ーフットサル大会ー



労働環境データ

	2018/3	2019/3	2020/3	
従業員数	男性	2,584	2,695	2,782
	女性	549	606	663
	合計	3,133	3,301	3,445
	PHA社員(期中平均8H換算)	10,690	10,899	11,185
平均年齢(歳)	38.4	38.6	38.8	
平均勤続年数	10.3	10.5	10.7	
管理職男女比	男性比率	93.2%	92.4%	92.4%
	女性比率	6.8%	7.6%	7.6%
	女性管理職数	51	64	62
障がい者雇用率 *PHA社員含む	2.34%	2.46%	2.47%	
育児休暇取得者数 *PHA社員含む	70	90	98	
有給休暇取得率	20.0%	18.1%	36.4%	
労働災害発生率(年千人率)	3.2	3.1	4.05	
平均年間給与(千円)	6,015	5,858	5,830	
労働分配率	48.7%	48.1%	47.9%	
従業員満足度 *主任・担当社員・PHA社員の働き甲斐スコア/5点満点	3.45	3.43	3.38	